



Are You Happy?



やりがい支援隊 令和2年9月 発行 第39号

今回の新聞は新年度を挟んでの発行の為、改めて“ワークライフバランスの定義”についての記事をまとめております。“私生活と仕事”のバランスの認識を今一度見直す機会として、記事を読んでいただければと思います。



ワークライフバランスとは？



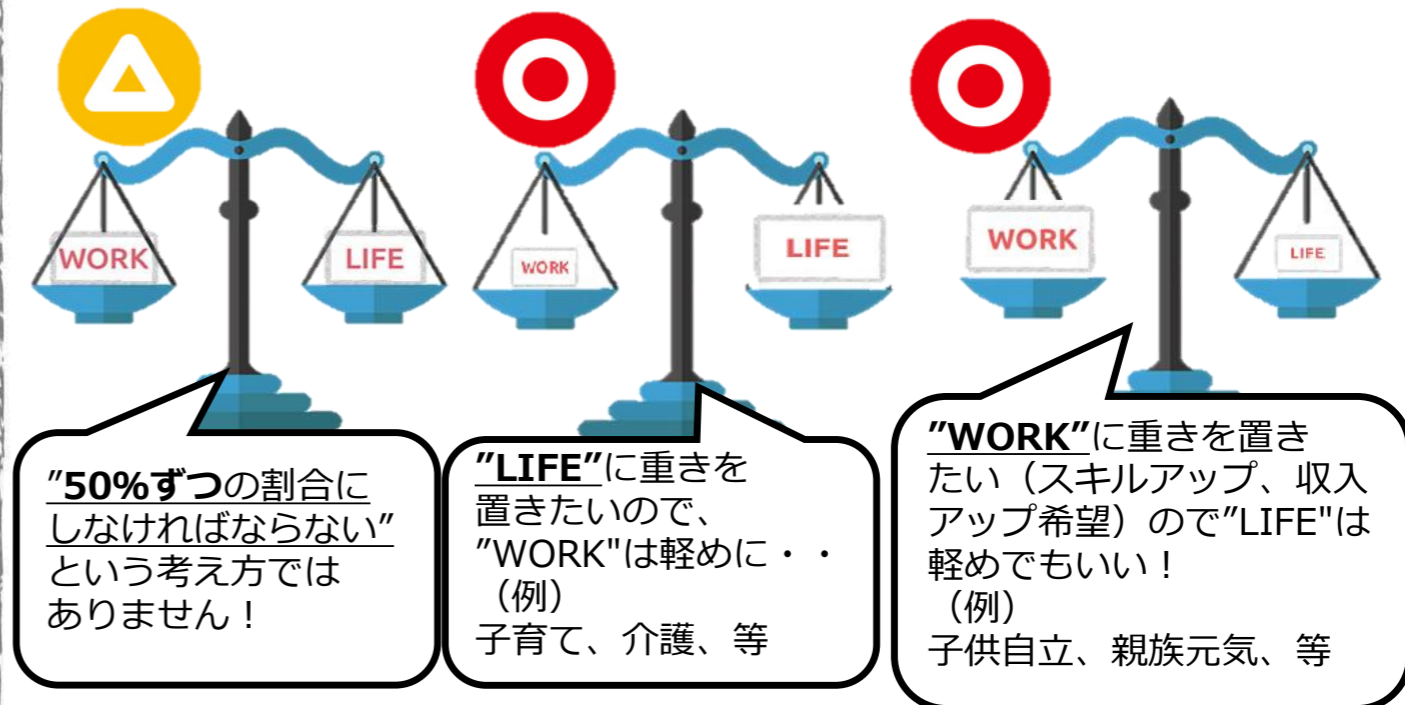
ワークライフバランスという言葉聞くようになって久しいですが、改めてどういう考え方なのかについて記してみます。ワークライフバランスとは、「仕事と生活の調和」と定義されています。調和とは整っている、釣り合っている、という意味ですので、これをワークライフバランスに当てはめると、仕事と生活のバランスが取れている状態をいいます。では実際どういう状態のことなのか、もう少し直感しやすい表現をすると、...

- ・生活の充実によって仕事はかどり、うまく進む。
- ・仕事がうまくいけば私生活も潤う。

といった、生活と仕事の相乗効果の事です。相乗効果という言葉から分かるように、生活と仕事のどちらを重視するか取捨選択をしてどちらかを犠牲にするというのではなく、両方をともに充実させていこうという考え方と言えます。この考え方が日本で広まってきたのはやはり少子高齢化・人口減少による労働力不足が背景にあります。それが（労働力）は世界との生産性の比較等から、各個人が単に猛烈に時間を労働に費やすのではなく、総合的に充実した生活を送る事により初めて大きな成果を持続的に出せるもの、という事がわかってきたからだと思います。この「充実」を目指しての方策が国をはじめ各方面で推進されています。

置かれている環境・思想が人により異なり、また、1人の中でもライフステージによってその両方が変化していく為、すべての人が納得する結果を実現するのは一朝一夕には難しいのは容易に判ります。しかし、まず各人が自分や周囲の事を考える際に、この多様性の存在を意識する事、またその上で全体のバランス（公平性）感覚を持ち続ける事がこれら施策の浸透には肝要ではないでしょうか？

図解



人によってその時々 **WORK** と **LIFE** のバランスは様々です

一人一人がやりがいや充実感を感じながら働き、仕事上の責任を果たし、家族や地域生活においても人生の各段階に応じて“多様な働き方”が実現できるよう、互いに助け合いながらより良い職場環境を目指していきましょう。

